

# 令和4年度 デイサービスなりすな事業計画書

令和4年4月1日

## 運営事業

デイサービスなりすな（平成28年4月開設）

- \* 認知症対応型通所介護事業（デイサービス） 1日あたりの利用定員12名
- \* 居宅介護支援事業所（H28.4～ 特別養護老人ホームなりすな併設から移転）
- \* 交流ホール（地域交流館同様に無料開放とする）

## 法人理念

- － 利用者の人権を第一にした施設運営
- － 地域に開かれた施設運営
- － 職員の資質向上を常にめざす施設運営

## 施設運営基本方針

『 福祉の心は、人間の尊厳を学び、  
何人にも畏敬の念を持って接することから始まる。 』

- － 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスの提供に努めます。
- － 明るく家庭的な雰囲気のもとで、地域や家庭との結びつきを重視した運営に努めます。
- － 質の高い介護、リハビリを提供することにより自立と家庭復帰に努めます。
- － 常に向上心をもって、介護技術の研鑽に努めます。
- － 職員同士お互いを思いやり、助け合う職場風土を築くように努めます。



## ● 居宅介護支援事業

- ① 担当利用者 40名/月を目標に担当利用者を増やす
- ② 利用者のアセスメントを強化し、根拠のあるケアプラン作成に努める。
- ③ 併設のデイサービス事業や他の事業所との連携強化を図っていく。
- ④ 行政機関主催の集団指導や ICT 研修会に積極的に参加し、新しい情報を得る。
- ⑤ 担当地域の介護支援専門員連絡会に参加する。
- ⑥ 利用者満足度調査を年1回実施する。

## ● デイサービス事業

### 〈令和3年度 主な取り組みについての振り返り〉

4月に新入職員1名採用したが、10月末退職となる。現状では職員個人の負担が大きいため、今後役割分担を含む業務の改善を行うことで働きやすい環境を作っていく必要がある。

利用者確保に向けて配布用の広報誌を作成し、またホームページでも情報を発信した。新規利用者2名確保は達成したが、やむを得ない家庭の事情で利用中止となった方が4名あり稼働率向上につながらなかった。また、職員が少ないため個別での対応が不十分であったと反省する。

### 〈令和4年度 具体的な取り組み〉

【目標】 デイサービスの利用稼働率は75%を目標とする。

(1か月あたりの平均延べ利用者230人)

| R4   |         | 4月     | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 月平均  |
|------|---------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|
|      |         | 延べ利用人数 | 220 | 230 | 240 | 250 | 240 | 250 | 250 | 230 | 220 | 220 | 210 | 230   | 2790 |
| (予定) | 1日の平均人数 | 8.4    | 8.8 | 9.2 | 9.2 | 9.2 | 9.6 | 9.6 | 8.8 | 8.5 | 9.2 | 8.6 | 8.5 | 107.6 | 9.0  |
|      | 稼働日数(日) | 26     | 26  | 26  | 25  | 27  | 26  | 26  | 26  | 26  | 24  | 24  | 27  | 309   | 26   |
|      | 稼働率(%)  |        |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 75%   |      |

※ 上半期：新規(パート2名)採用を目指し、活動する。

※ 下半期：新規利用2~3名確保を目標とし令和5年度稼働率80%目標となるよう努力する

※ 稼働率重視で質が悪くなる ではなく、稼働率の維持向上とともに質の向上もめざす

### 【具体的な取り組み内容】

- ① 業務分掌を見直し・整備することで、職員の役割分担を明確にする
  - ・全ての業務を洗い出し、負担のない範囲で振り分ける。
  - ・業務分掌について、職員間で周知徹底を行う。
- ② 働きやすい環境を作る為、業務改善を行う
  - ・新規(パート2名)採用し、利用者対応の充実を図ったうえで、書類作成業務等滞りなく行える体制を作る
- ③ コロナ禍でも快適に過ごしていただける環境の整備を行う
  - ・感染対策の為、パーテーションの活用・湿度管理等を行う。
  - ・車両の清掃、消毒を徹底する。
- ④ 利用者一人一人の特性等に合わせたサービスの提供
  - ・目線を合わせての個別対応を心がける
  - ・月1回の職員会議で情報の共有を行う
  - ・認知症の理解を深めるための勉強会を年2回(7月・1月)以上行なう
- ⑤ 利用者、家族の在宅生活を支える
  - ・送迎時の情報収集(独居の方送迎時家族不在の方には)個別に家族へ連絡を取る
  - ・本人・家族の急変時でも要望に沿えるよう、柔軟に対応できる体制を作る
- ⑥ 介護サービス・職員体制の評価を行う
  - ・年1回(11月)家族様アンケートの実施

#### ○ その他

新型コロナウイルス感染症予防対策の検討・実施 BCP訓練の実施

感染症対策の最新情報に注視し、出来る事から早急に対応していく

#### ○ 年間行事

- ・ 4月 花見外出
- ・ 5月 花見外出
- ・ 6月 海岸清掃(地域貢献)
- ・ 7月 そうめん流し
- ・ 8月 納涼祭
- ・ 9月 敬老会
- ・ 10月 運動会
- ・ 11月 紅葉狩り
- ・ 12月 忘年会、クリスマス行事
- ・ 1月 新年会
- ・ 2月 節分行事
- ・ 3月 ひな祭り行事

※適宜(外出支援・畑づくり・作品づくり・おやつ作り・木工作业・誕生会)

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施を見合わせる場合もある